



瑞山会会報 No.41

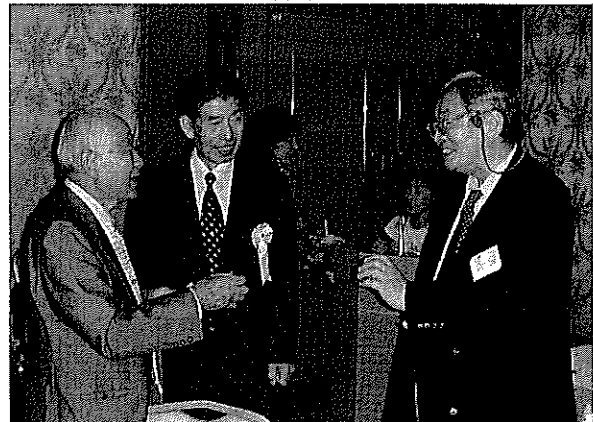
編集発行
名古屋市立大学
経済学部同窓会
瑞山会編集部

<http://www.asahi-net.or.jp/~IW3K-KJM/zuizan.html> 平成16年12月10日発行

平成16年度瑞山会総会 開催される



総会会場で議事進行中

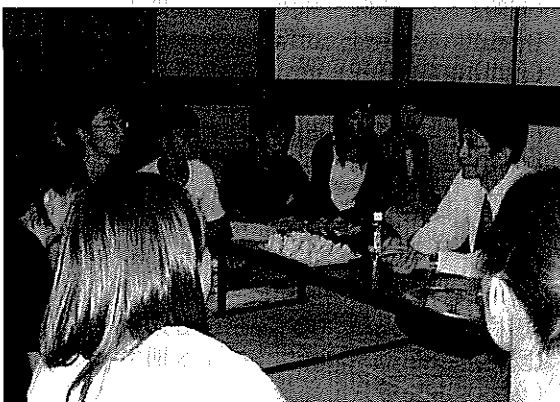


談笑する、左から今枝氏、本多氏、前田会長

平成16年度瑞山会総会は、9月25日（土）午後4時から名古屋・名鉄グランドホテルにおいて開催されました。議事は柳原氏の進行で、前田会長からこれまでの同窓会活動と次年度の活動計画が報告され、続いて会計部児島氏より決算報告がなされました。さらに監事松原氏の監査報告がなされました。最後に質疑応答の後、拍手によって全議題が承認されました。

一方特別講演会は今枝一男氏（薬学部OB、薬学博士）の「お塩といのち」という演目で約一時間行われました。5時半よりは懇親会に移り、OB約50名の参加のほか、藪内経済学部長、神山経済学部教授、程島経済学部助教授、本多医学部同窓会会長、青山医学部名誉教授、八代薬学部同窓会副会長の皆様のご列席のもと盛大に行われました。（会計報告、役員名簿等は2ページに掲載されています。）

経済学部就職支援活動「学校内でOB訪問」が復活



経済学部としての新しい就職支援活動として、「学校内でOB訪問」が6月25日（金）に、学生会館3階和室で午後4時10分から2時間以上にわたって開催されました。

この支援活動は平成11年度までは学生により自主的に行われていましたが、ここ数年は中断。このたび、経済学部の就職支援の新しい形として復活しました。経済学部OBは瀧定名古屋、トーエネック、トヨタ自動車、メイラの企業人事担当者など5名の方々に参加していただき、後輩である3年生30名に対し社会に出る心構えなどを語っていただきました。瑞山会からも前田会長にご出席いただき、大学からは藪内繁己学部長及び就職委員が出席されました。

大学としては初めての取組みでしたが、OBと学生との熱心な語らいに2時間があっという間に過ぎました。学生へのアンケートによると、非常に有意義であった、少しは為になったとする者が大部分で、要望としては、業種を代えて実施してほしいという意見が多くあったとのことでした。

瑞山会としてもできる限り、在校生諸君の就職活動に協力していければと思います。次回開催の際は、是非ご参加ください。

●平成15年度決算報告

第26期 貸借対照表

(平成16年3月31日現在) (単位 円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金・現金	10,571,675	短期借入金(注1)	200,000
中国ファンド	5,978,088	未払費用(注2)	15,710
貸付信託	6,560,000	運営基金積立金	24,890,224
金銭信託	1,996,171	(うち当期剰余金)	(1,583,869)
合計	25,105,934	合計	25,105,934

(注1) 庶務部長より一時借入
(注2) 編集部未精算分

第26期 収支計算書

(自平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入 (新入会費)	4,200,000	4,200,000	0
各部預金利息	2,000	95	△1,905
運営基金利息	10,000	2,676	△7,324
名簿売上	0	12,000	12,000
補助金収入	0	0	0
収入計	4,212,000	4,214,771	2,771

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	0	△50,000
会報発行費	1,500,000	1,372,970	△127,030
総会費	500,000	377,952	△122,048
事務費	300,000	184,053	△115,947
通信費	200,000	67,640	△132,360
事業運営費	950,000	612,287	△337,713
予備費	712,000	16,000	△696,000
支出計	4,212,000	2,630,902	△1,581,098
当期剰余金	0	1,583,869	1,583,869
合計	4,212,000	4,214,771	2,771

●平成16年度予算案

第27期 収支計算書

(自平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(A)-(B)
会費収入 (新入会費)	4,260,000	4,200,000	△60,000
各部預金利息	1,000	95	905
運営基金利息	5,000	2,676	2,324
名簿売上	0	12,000	△12,000
補助金収入	0	0	0
収入計	4,266,000	4,214,771	51,229

(注) 新入会費・予算額は平成16年4月23日入金確認分

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	0	△50,000
会報発行費	1,500,000	1,372,970	△127,030
総会費	500,000	377,952	△122,048
事務費	300,000	184,053	△115,947
通信費	200,000	67,640	△132,360
事業運営費	950,000	612,287	△337,713
予備費	766,000	16,000	△750,000
支出計	4,266,000	2,630,902	△1,635,098
当期剰余金	0	1,583,869	1,583,869
合計	4,266,000	4,214,771	△51,229

(注1) 新卒業生に対する名簿追録発行費用
(注2) 会報2回発行費用 市大広報発送費用含む
(注3) 新支部補助金、OB表彰制度 等

2004年度役員名簿

理事

●会長

前田 勝昭 1期生(岡崎)

●副会長

多和田 眞 4期生(岡崎)

佐藤 克己 8期生(岡崎)

服部 篤典 18期生(安藤)

●庶務部長

伊藤 孝 6期生(山本)

●副庶務部長

渡辺 尚泰 3期生(柴田)

●庶務部

浅井 和良 1期生(静田)

近藤 常夫 1期生(平田)

八木 得三 5期生(山本)

小笠原 幸生 6期生(中居)

荒深 美和子 9期生(木村)

倉地 弘美 14期生(松永)

木村 剛 17期生(辻)

吉田 和男 20期生(國村)

●編集部長

榊原 茂 1期生(松永)

●副編集部長

中村 英利 20期生(西田)

●編集部

伊藤 幸雄 5期生(妙見)

鈴木 正彦 7期生(芝原)

田中 喜夫 7期生(岡崎)

寺沢 賢治 11期生(牛嶋)

水野 誠 13期生(宮川)

松川 倫典 16期生(塩見)

湯浅 伸庸 18期生(安藤)

鈴木 正 19期生(星野)

石川 勇治 21期生(上村)

柴田 光晴 22期生(神山)

家田 嘉人 23期生(星野)

佐藤 哲也 24期生(宮川)

高山 浩之 26期生(國村)

西 理恵 26期生(國村)

清水 綾子 30期生(多和田)

杉田 明子 30期生(安藤)

奥村 光輝 31期生(多和田)

西脇 桂 33期生(安藤)

時國 均 33期生(森田)

松尾 裕次 34期生(森田)

●事業部長

逸見 和弘 1期生(松永)

●副事業部長

杉浦 晴義 5期生(松永)

●事業部

都島 忠比古 3期生(山本)

浅岡 邦康 3期生(傍島)

木村 新作 5期生(岩橋)

村井 清 6期生(山本)

岡田 美津雄 10期生(中居)

村岡 範久 15期生(松井)

畔柳 一 19期生(星野)

石川 常彦 23期生(國村)

●名簿部長

中村 正治 5期生(木村)

●副名簿部長

児島 完二 22期生(妙見)

橋本 光生 18期生(醍醐)

●会計部長

坂野 修 2期生(山本)

●副会計部長

児島 和世 22期生(國村)

監事

栗野 泰次 1期生(大山)

松原 隆二 4期生(中居)

新学部長に就任して

名古屋市立大学経済学部長
藪内 繁己

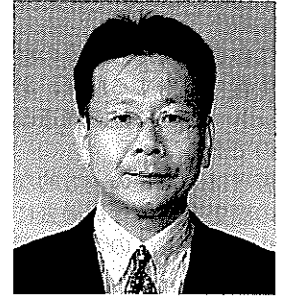
瑞山会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

経済学部は今年創立40周年（本年度入学生が40期生）を迎え、またこれまで7000名を超える卒業生を送り出してきました。20歳前後からまもなく還暦を迎えられる方まで、卒業生の皆様は、名古屋・東海地域を中心にさまざまな分野でご活躍のことと思います。また日頃は母校のために何かとご尽力を賜わり心よりお礼を申し上げます。

さて、大学を取り巻く環境は急激に変化し、これまでにない改革の時期を迎えています。平成14年度からは、大学院の重点化にともなう組織改革により、教員の所属が経済学部から経済学部研究科に移行しました。また従来からの課題であった社会人大学院に博士後期過程を設置するとともに、大学院を拡大再編し、共に前期・後期過程を有する経済分析専攻と日本経済経営専攻の二専攻体制が平成17年4月からスタートすることになっています。また学部教育に関しては、基礎演習の導入、少人数教育を実現する時間割作成、統一テーマによる外部講師による実践的講義の実施、卒業生表彰制度の多様化や就職委員会の設置など、学部学生の入学から卒業までの責任ある教育体制の実現に向けたさまざまな取組がなされてきています。

また研究面では平成13年度に実施された、大学評価・学位授与機構による外部評価において、研究の内容及びその水準をはじめとする研究面の目標とその達成度全般に関してきわめて高い評価を得ることができました。各教員の個々の研究、及び地域貢献などについての努力が評価されたものと思われ、今後も一層の実績を積み重ねて参りたいと考えております。さら

に平成18年4月から名古屋市立大学は独立行政法人になる予定で、現在準備を進めています。法人化後は言うまでもなく、大学がどのような役割を担うべきかという視点からの改革はすでに始まっ



ています。教育と研究はいうまでもなく、大学の果たすべき役割として、近年地域貢献が大きく取り上げられています。その傾向は地方の国公立大学においてとりわけ強いように思われます。この点について名古屋市立大学も例外ではありません。大学の最大の貢献は学生の教育にあります。とりわけ地域性の高い大学にあっては、当該地域の学生を教育し付加価値を付けた上で社会に送り出すことが使命といえます。経済学部について言えば、約90%の学生が東海三県から入学し（名古屋市は20%程度）、約60%の卒業生がこの地域に職を求めています。したがって大学のこの基本的な貢献により地域に果たす役割はきわめて大きいものがあります。法人化を控え、この面での教育を一層充実させると共に更にその実績も広く効果的にアピールしていく必要があると思われます。

瑞山会の皆様には、これまでもさまざまな形でご支援を頂いて参りましたが、これからは学生の就職支援も大学の重要な課題となっております。私共も積極的にこの問題に取り組んでゆきたいと考えておりますが、大学と同窓会の密接な連携がますます必要になると思われます。先輩の皆様におかれましても、今後とも後輩のためにご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

学部人事異動

- 平成15年9月30日 退職
助教授（経済理論） 芦谷 政浩
- 平成16年3月31日 退職
教授（経営・会計学） 西田 耕三
- 平成15年12月1日 採用
助教授（経済政策Ⅱ） 井上 光太郎
- 平成16年4月1日 採用
教授（経営・会計学） 星野 優太
教授（経営・会計学） 角田 隆太郎
助教授（経済政策Ⅰ） 中山 徳良
助教授（経済理論） 澤野 孝一朗
- 平成16年4月1日 異動
＜兼任＞ 経済学部長 藪内 繁己
＜昇任＞ 助教授（経済理論） 松原 聖（講師より）

瑞山会新加入会員情報など

平成15年度卒業式は、3月25日（木）午前10時から熱田区の名古屋国際会議場センチュリーホールで行われました。経済学部生は204人が卒業し、瑞山会正会員（37期生）となりました。また平成16年度入学式は、4月6日（火）午前10時から同会場で行われ、213名の新生が入学しました。

また、卒業生の進路情報は「経済学部公式HP」に年度別のデータが公開されております。

＜経済学部HP表紙→卒業生の就職先等状況一覧＞と進んでいただくと、年度別に閲覧いただけます。

((((((山の畑読書庵 第4回)))))))

市場主義の終焉—日本経済をどうするのか— 佐和隆光 著

岩波新書 2003年 4月第11刷発行 (新赤版) ISBN4-00-430692-2

この書は現在、世界の経済学会、特に日本の経済学会、また実業界にはびこっている「市場経済主義」あるいは「市場万能主義」に対する危惧、あるいは抵抗の書である。何故なら、小泉首相および竹中平蔵経済財政政策担当大臣率いる内閣のモットーである経済構造改革に対する際限なき「自由放任主義」が推進する日本経済の将来の姿にアンチテーゼを発しているのである。

著者は、現在の一方的な経済学界でバランスを欠いた経済学思想や考え方を是正したいと考えていて、それは少し経済学の歴史を紐解けば過去にも同じような状況が繰り返されていることが立証されるとしている。経済学を勉強しているものなら、誰でもこのことは理解できる。なぜならアダムスミスの言うナイーブな「自由放任主義」は、決して経済が良くなるとは思えないからである。すなわち、規制緩和による競争原理により、一時的に、失業が発生しても、特段の政策を実施しなくても自然に解消されるという「予定調和」の発想、ゼロ金利政策によって投資が誘発されるという考え方は、現実世界を見る限り成功しているとはとても思えない。その理由は、その「予定調和」思想に基づく「見えざる手」による市場メカニズムの自動調節機能は、ケインズを出すまでもなく、あくまでも市場を通らないインフラ、すなわち公共財的な警察、消防、国防、通信、港湾、公園などの市場を支える生活基盤、ならびに歴史的資産、所得配分の平等性が成立している上に、成り立つものであるからである。平易な言葉で言うなら、運動会の徒競走は、同じスタートラインから出発しないと不平等が成立し、優勝劣敗の思想により、すでに経済格差や所得格差が存在するのに、競争をそれぞれの現在いる所からスタートすれば、富むものは富み、貧するものはますます貧すると言っている。現代は、グローバリゼーション(アメリカナイゼーションと著者は言っている。)の美名の下にますますその格差は開いている。その代表格が米国経済であることを見事に立証している。その経済優等生でない米国型経済になぜ日本が右へ倣えをする必要があるのか。日本は、競争原理をうまく取り入れた「第三の道」があるのではないかというのである。実際、その悪弊が、失業の悪化、犯罪の増加、犯罪の低年齢化、離婚の増加、教育の荒廃、知能差の拡大、社会不安の増加、社会保障負担の増加、社会環境の悪化などに繋がっているのである。また、グローバル化においては、ヘッジファンドによる急激な経済危機の創発(1997年から98年に起こった東アジア通貨危機)、あるいは地球環境の悪化などがある。

このように、この本で、著者は現在の日本経済の行く末を案じ、日本の良さを失わない、かつ高度IT社会に適応し、環境に配慮した真の民主的な社会の「第三の道」があるのではないかとしている。したがって、現在歩んでいる日本の小泉内閣の推進している道は、「市場の失敗」の配慮のない失敗したサッチャリズムやレーガノミックスの道を歩み、ますます日本経済を「真の豊かな社会」から遠避けるのではないか、今やその瀬戸際にいると考えているのである。しかしながら、著者の提唱する「第三の道」の具体的な内容が示されていないのが、唯ひとつ残念なことである。

大阪経済大学経営情報学部教授 伊藤 幸雄 (5期生)

瑞鳳会 (瑞山会職域支部)

総会、懇親会開催される

トヨタ自動車(株)における名市大卒業生の同窓会、瑞鳳会(会員数55名のうち経済学部卒26名)は、5月21日(金)2004年度総会及び懇親会を開催した。台風2号の影響で開催が心配されたが無事トヨタ自動車(株)名古屋ビル(名古屋市中区泉)近くの会場で13名(経済学部卒12名、医学部卒1名)が出席して行われた。昨年は新卒の新会員歓迎会を兼ねたが残念ながら今年は新卒会員ゼロの中で開催、冒頭水谷代表(経済45年卒)の挨拶に始まり、2~3月に行った経済学部在校生の「OB訪問」受け入れ対応(6名参加)の活動報告や会計報告が行われ懇親会に移った。懇親会では、学生時代のクラブ活動の状況や麻雀は東天紅、昼食は双龍園とかのキャンパスライフの話などであっという間の2時間が過ぎた。こうした懇親の場を9月頃に設けより多くの会員に参加してもらうことを確認して散会した。最後に瑞山会のご支援に感謝しつつ報告とします。

(6期生、昭和48年卒 村井清)

同窓会名簿部からのお願い

瑞山会会員登録データは皆さんからの自主申告でのみ更新することができます。会報等の送付物が宛先不明で返却されてしまうと、その時点で同窓会が持つ登録住所データが削除され、以後瑞山会からは送付物が届かなくなり、データにはお名前以外不明になります。

そこで、変更があった場合、お知らせいただく方法は以下の三つがあります。

- 1) 会報に同封されている返信葉書を使う。
- 2) FAXで瑞山会事務局へ送る。

FAX番号: 052-332-6096 (事務局、児島宛)

- 3) 電子メールで名簿部宛に送る。

アドレス: iw3k-kjm@asahi-net.or.jp (児島宛)

名簿データを維持して会員同士の連絡の一助とする事は同窓会の大切な活動目的の一つです。現在の社会状況では転勤や転職など異動の機会が大変多く、住所・勤務先などの変更がございましたらできるだけお早めに「名簿部」へご連絡下さるようお願いいたします。また在学時代のゼミやクラブ等のお友達で不明になっている方の情報がありましたら、あわせてお知らせください。

会員からの声

会報40号の返信葉書で寄せていただいた皆さんからの近況、ご感想など

●昨年(2003年)に東京勤務から地元名古屋へ戻りました。2005年の中部新空港、愛知万博が中部圏の目玉。楽しみにしております。色々転勤を重ねましたがここ名古屋で落ち着きそうです。

(木村好広、藤田ゼミ S45、阪急交通社)

●専業主婦となり8年余り、子供に手が掛からなくなったとはいえ、時間の制約がありなかなか仕事を探すことができません。卒業生の方で同じような状況でもうまく仕事に就けた方法などをお聞かせ願えたら...と思います。

(大塚尚代、松永ゼミ H4)

●転勤族の私ですが、今は名古屋でどっしりと腰を据えて仕事に取り組んでおります。...私の業界でもご他間に漏れずグローバル化の中で日々外資系企業との戦いがあり国内の競争だけでは生き残れないということを実感しております。外資の思想の根本にある聖書(旧訳、新訳とも)を今は私のライフワークとして解説の日々に明け暮れております。40号の湯浅氏の手記を見て何故あの事件が起こったのかは聖書を見なければ判りません。日本人の意識では解けないことがどんどん入ってきているのです。私なりに中途半端な本ではありますが、研究論文のような書をまとめました。興味のある方は実費(2000円)でお分けしますのでご連絡ください。

(中森啓二、松永ゼミ S55、日本生命東海代理店)

●昨年11月29日、市大AISECの人達の手配で経済棟で講義をさせていただきました。

(林徑子、岸ゼミH3、財団法人オイスカ)

●ひさかた振りに会報を読ませていただき懐かしさを覚えました。(石野昌彦、松永ゼミS50、アメリカンファミリー生命代理店)

●昨年31年振りに名古屋に戻って来ました。

(中山栄二、山本ゼミS47、日本航空)

●昨年島根県に引っ越しました。さすが山陰、毎日天気が悪く、寒い日が続いています。太平洋側の乾燥した晴天が懐かしい。(三枝香澄、芝原ゼミH2)

●今年の9月に定年となり、名古屋で住居を構えることにしました。(箱山昭雄、福田ゼミ、S43)

●2003年12月の異動で、本社調査室に赴任しました。新たな視点で経営管理に携わることになりました。(長谷川昇、福田ゼミS44、敷島製パン)

●2004年4月より学校法人愛知大学へ転籍し、大学の子会社であるエー・ユー・エスへ出向となります。

(山田陽一、加藤ゼミS46(株)エー・ユー・エス)

●現在名古屋銀行六番町支店にて営業をしておりますが、地元中小企業の業況は未だ厳しく、その経営の一助になればという気概で業務に取り組んでいる毎日です。(木河勇二、岩橋ゼミS63、名古屋銀行)

●蓼名荘を卒業生も使えるとのニュースは少しトクした気がしました。(西松達郎、中居ゼミ S49)

●昭和43年卒業者の名簿作成をお願いしたい。また東京周辺の同窓会の設立をお願いしたい。

(荒川哲夫、福田ゼミ、S43、デイリーヤマザキ)

●蓼名荘の記事よかったです。学生時代の事を思い出しました。また行ってみようかな。

(下江淳子、神山ゼミS63)

●今回は蓼名荘の記事がありましたが、蓼名荘近辺に口コミ的なスポット特集があるとよい。

(児玉行広、松永ゼミS63、大垣共立銀行)

●名古屋を離れて10年以上、名市大の最近の様子を知る唯一の会報です。まだ子育ての手が離れませんが、皆さんの集まりに出かけられる日を楽しみにしています。(多田朋美、松永ゼミS62)

訃報

次の会員の方が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

山田 裕昭氏	(S43卒、平成15年1月9日)
松下 敬三氏	(S44卒、平成15年8月)
小林 信恵氏	(S57卒、平成15年9月27日)
中瀬 高史氏	(S61卒、平成15年10月5日)
長屋 昭彦氏	(H4卒、平成15年11月30日)
二村 明彦氏	(S44卒、平成16年1月23日)
田中 健司氏	(S50卒、平成16年1月27日)

会員ご逝去に際しましては、あらかじめ庶務部へご連絡があれば「慶弔金品等支給基準」に依り、同窓会から生花一対と弔電をお送りさせていただきます。

【同窓会運営への参加者を募集】

同窓会では現在、会の運営に参加して下さる方を募集しています。特に庶務部、事業部では催事の準備・運営等にあたって幅広い会員の方の協力が欠かせません。また31期(平成10年3月卒)以降、昨年までの年度別代議員が1名も選出されておられません。同窓会運営の審議権を代表する方が、それらの卒業年度は空席のまま現在に至っています。

積極的に時間を割いて活動していただける方のご連絡をお待ちしております。

お問い合わせ等連絡先

瑞山会事業部 逸見和弘 TEL 052- 332- 6380

庶務部 伊藤 孝 TEL 052- 931- 5546

瑞山会名簿発行のご案内

これまで瑞山会では、会員名簿を整備・発行し会員相互の親睦、交流をはかってまいりました。卒業生データは同窓会活動にとって貴重な財産となるとともに、今後の大学や地域の発展にも大きく寄与する基盤と考えます。しかし、昨今の個人情報に関する取り扱いが、同窓会活動にも大きく影響してまいりました。さらに、見覚えのないDMや電話でのセールスなどで不信感がますます高まり、これに拍車をかけています。しかし、会報など同窓会の案内を適切にお届けし、円滑な活動をするためにも、今後も会員名簿を整備・発行する所存です。

平成17年末には、通算8回目の瑞山会会員名簿の発行を行います。今回も十分に「個人情報保護法案」に配慮・対応して、実施します。よってデータ更新や購入手続き等が、従来よりも面倒になる場合があるかもしれませんが、ご理解下さい。葉書などでデータの更新をお願いする予定です。悪質な業者が紛らわしい表現で全く無関係な案内を出してくるかもしれませんが、ご注意下さい。お手元に届く正式な案内には、必ず瑞山会の名前や連絡先が明記されております。

名簿の更新・発行にかかるご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

名簿部副部長 児島完二 22期生

理 事 会 便 り

瑞山会では平成元年以来、卒業し正会員に加わるOBの皆さんの中から成績優秀者を表彰する瑞山会賞を続けていますが、経済学部教授会から、平成15年度より成績選考に加え、卒論優秀者やその他社会貢献等優れた功績を挙げた卒業生も選考に加えたいという提案があり、本年2月11日に理事会で了承されました。

3月4日に、瑞山会から前田、逸見、服部の3名と経済学部から井上先生、岡本先生が出席し経済学部にて選考会議をおこない、その結果6本の優秀論文から3本が選ばれ、成績優秀者と合わせ合計6名が、平成15年度卒業生瑞山会賞に決定しました。

なお表彰は、3月25日謝恩会にて前田会長から授与されました。

受賞者 (五十音順、敬称略、下線は優秀論文者)

井熊宣博 石崎 恵 久野洋二郎
佐藤真滋 杉山 学 戸澤梨恵

注) 経済学部公式ウェブサイトには卒論優秀者の要旨が公開されています。

編 集 部 便 り

今年は随分気候の変動が激しかったですね。さて本年度より瑞山会報の発行を年末一回のみと変更させていただきました。

これは以前からお知らせしておりますように、全会員への無料送付を継続させるために主に掛かる郵送経費が、会員数の増加に連れて予算総額の2/3以上を占める状況になってきました。紙媒体での情報提供を希望する声はまだまだ圧倒的に多い現在では送付を維持することが重要です。その為に昭和60年以後続けてきました年二回を年末一回に変更せざるをえません。

紙面数をできるだけ増やすことを考えておりますが、記事内容の時期と皆さんへの提供期日のずれが長くなりますがご理解をお願いいたします。かわりに同窓会HPでは更新を頻繁に行っておりますので、閲覧できる環境にある会員におきましてはそちらからも同窓会の最新情報を是非ご利用ください。

また皆さんからの寄稿をお待ちしています。エッセイ、書評、ゼミOB会の話、学生時代の思い出等々をお待ちしています。写真などの掲載も可能です。郵送または電子メールでお送りください。

<原稿送付先> 瑞山会会報編集部 中村 英利
郵送 〒454-0927 名古屋市千川区打中1-200
電子メール Eirinaka@aol.com

事 業 部 便 り

平成16年4月4日山崎川花見散策と茶会が名市大薬学部同窓会館薬友会館を利用して行われました。天気には恵まれず散策には不向きでしたが、茶会としては風情のある催しとなりました。4月10日には第43回OBゴルフコンペが多度CCにて快晴のもと行われました。優勝は三宅政臣氏(1期生)、準優勝稲垣和俊氏(2期生)でした。5月3日には第15回硬式テニスの会の予定でしたが、非情の雨のため中止となりました。9月5日にはバーベキューが名市大キャンパス内で行われました。怪しげな雲模様の中でスタートし、途中から雨となってしまいました。事前の準備でテントを用意しましたので事なきを得ましたが、毎年楽しみにしている銀杏の収穫は断念となりました。10月30日には貞宝CCにて第44回OBコンペが開催されました。経済学部長の藪内先生にもご参加いただき、また前回優勝者の三宅政臣氏の奮闘もあって過去最大の総勢31名の盛大なコンペとなりました。三宅氏のご尽力に感謝します。優勝は藤原悟氏(1期生)、準優勝杉浦あきら氏でした。次回開催は4月16日葵CCの予定です。奮ってご参加ください。事業部へのご意見、ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

(事業部長 逸見和弘 TEL 052-914-6221 E-mail hem3@r3.dion.ne.jp)

瑞山会年間行事予定 (平成17年) 行事の日程等は変更することがあります

<p>4月3日(日) 山崎川花見と茶会 (薬友会館喫茶室を休憩所開放します)</p>	<p>5月3日(祝) テニス大会(硬式) 山の畑キャンパスにて開催</p>	<p>9月下旬 通常総会(兼代議員会)</p>
<p>9月4日(日) 野外バーベキューの会 山の畑キャンパスにて開催</p>	<p>OBゴルフコンペ 4月16日(土)・10月中旬</p>	<p>同窓会ホームページ内にも催事開催の御案内をしております。直前情報等もご覧ください。</p>